

2021年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料

2020年度中間決算の特徴（単体）	1
I 2020年度中間決算の概要	
1. 預金、貸出金の残高【単体】	2
2. 利鞘【単体】	3
3. 預り資産残高・期中販売額【単体】	3
4. 損益状況【単体】	4
5. 損益状況【連結】	6
6. 業務純益【単体】	7
7. 債券等関係損益【単体】	7
8. 株式等関係損益【単体】	7
9. 有価証券の評価損益【単体】・【連結】	8
10. ROE【単体】	8
11. 自己資本比率（国際統一基準）【単体】・【連結】	9
II 貸出金等の状況	
1. 貸倒引当金とリスク管理債権の状況【単体】・【連結】	10
2. 金融再生法開示債権の状況【単体】	11
3. 業種別貸出状況等	12
(1) 消費者ローン残高【単体】	12
(2) 中小企業等貸出金残高・比率【単体】	12
(3) 業種別貸出金残高【単体】	12
(4) 業種別リスク管理債権残高【単体】	13
4. 国別貸出状況等	13
(1) 特定海外債権残高【単体】	13
(2) アジア向け貸出金【単体】	13
(3) 中南米主要諸国向け貸出金【単体】	14
(4) ロシア向け貸出金【単体】	14
III 自己査定結果と開示基準別の分類・保全状況【単体】	15
IV 2021年3月期(通期)の業績予想	16

2020年度 中間決算の特徴 (単体)

◆業務粗利益の増益を主因に経常利益が増益となるも、特別損益減少により中間純利益は減益

(詳細は、4～5頁をご覧ください。)

- ◇ 貸出金利息は前年同期比1,046百万円減少、有価証券利息配当金は同266百万円減少しました。一方で、預金等利息をはじめとする資金調達費用が減少し、資金利益は同649百万円増加しました。
- ◇ 役務取引等利益は前年同期比175百万円増加、その他業務利益は同925百万円増加し、業務粗利益は同1,751百万円の増益となりました。
- ◇ 経費は前年同期比64百万円減少し、実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は同1,815百万円の増益、業務純益は同2,041百万円の増益となりました。
- ◇ 臨時損益は全体で前年同期比1,142百万円減少し、経常利益は同898百万円の増益となりました。一方、固定資産処分益の減少等により特別損益が前年同期比2,900百万円減少、法人税等合計は同743百万円減少しました。
- ◇ これらの結果、中間純利益は6,569百万円となり前年同期比1,258百万円の減益となりました。

(単位:百万円)

	2020年度 中間期	2019年度 中間期	前年同期比
業務粗利益	27,831	26,079	1,751
資金利益	22,585	21,936	649
うち貸出金利息	17,568	18,614	△1,046
うち有価証券利息配当金	6,880	7,147	△266
うち預金等利息 (△)	527	1,329	△801
役務取引等利益	4,006	3,830	175
その他業務利益	1,238	312	925
[うち債券関係損益+金融派生商品損益]	[840]	[120]	[719]
経費 (△)	21,052	21,116	△64
人件費 (△)	9,757	10,022	△264
物件費 (△)	9,530	9,414	116
税金 (△)	1,763	1,679	84
実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	6,778	4,963	1,815
コア業務純益	5,613	3,916	1,697
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	5,255	3,833	1,422
一般貸倒引当金繰入額〔①〕 (△)	279	505	△225
業務純益	6,498	4,457	2,041
臨時損益	305	1,448	△1,142
うち株式等関係損益	1,264	1,696	△431
うち償却債権取立益	76	237	△160
うち不良債権処理額〔②〕 (△)	1,453	926	527
うち貸倒引当金戻入益〔③〕	—	—	—
うち偶発損失引当金戻入益〔④〕	16	5	11
経常利益	6,804	5,905	898
特別損益	1,877	4,777	△2,900
うち固定資産処分損益	2,100	4,957	△2,857
うち減損損失 (△)	223	180	42
税引前中間純利益	8,681	10,683	△2,001
法人税等合計 (△)	2,111	2,854	△743
中間純利益	6,569	7,828	△1,258
与信コスト(①+②-③-④) (△)	1,716	1,426	290

I 2020年度中間決算の概要

1. 預金、貸出金の残高【単体】

当中間期の預金等（譲渡性預金を含む）の期中平均残高は、前年同期比2,643億円増加（増加率5.36%）し5兆1,944億円となりました。コアとなる個人預金の期中平均残高は3兆7,282億円で前年同期比1,729億円の増加となりました。

一方、貸出金については、事業性貸出・消費者向け貸出・地公体向け貸出ともに増加し、期中平均残高は3兆9,728億円となり、前年同期比1,980億円の増加（増加率5.24%）となりました。

この結果、預貸率は76.48%となり、前年同期比0.08%低下いたしました。

今後も引き続き、運用力の一層の強化に努め、良質な貸出金の増強に努力してまいります。

（金額単位：百万円）

〔期中平均残高〕	2020年度中間期	（比較欄上段は増減率）		2020年3月期	2019年度中間期
		2020年3月期 比較	2019年度中間期 比較		
預金等 （預金＋譲渡性預金）	5,194,437	(5.33%) 262,923	(5.36%) 264,356	4,931,513	4,930,081
うち滋賀県内	4,513,267	246,863	262,696	4,266,404	4,250,571
預金	5,114,443	282,415	283,256	4,832,027	4,831,187
うち個人預金	3,728,210	148,506	172,986	3,579,704	3,555,224
うち法人預金	1,167,122	109,282	106,962	1,057,839	1,060,160
譲渡性預金	79,994	△19,491	△18,899	99,486	98,894
貸出金	3,972,852	(4.54%) 172,614	(5.24%) 198,007	3,800,238	3,774,845
うち滋賀県内	2,391,643	77,849	91,483	2,313,794	2,300,160
うち消費者向け貸出	1,030,494	18,991	25,159	1,011,503	1,005,335
うち事業性貸出	2,421,281	136,409	153,564	2,284,871	2,267,716
預貸率	76.48%	△0.58%	△0.08%	77.06%	76.56%

（金額単位：百万円）

〔期末残高〕	2020年9月末	（比較欄上段は増減率）		2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比較	2019年9月末比較		
預金等 （預金＋譲渡性預金）	5,282,695	(6.25%) 311,018	(7.21%) 355,366	4,971,676	4,927,328
うち滋賀県内	4,584,115	256,519	330,519	4,327,596	4,253,595
預金	5,207,651	316,538	380,364	4,891,113	4,827,287
うち個人預金	3,779,569	159,344	224,790	3,620,224	3,554,778
うち法人預金	1,216,653	151,751	148,741	1,064,902	1,067,912
譲渡性預金	75,043	△5,520	△24,997	80,563	100,040
貸出金	3,983,906	(2.70%) 105,020	(5.03%) 190,976	3,878,885	3,792,929
うち滋賀県内	2,426,238	50,322	102,335	2,375,915	2,323,902
うち消費者向け貸出	1,033,417	5,665	20,306	1,027,752	1,013,110
消費者ローン	1,006,166	7,701	24,809	998,465	981,356
その他の 消費者向け貸出	27,250	△2,036	△4,503	29,287	31,754
うち事業性貸出	2,430,920	105,450	151,628	2,325,470	2,279,291
預貸率	75.41%	△2.60%	△1.56%	78.01%	76.97%

(注) 1. 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2. 消費者向け貸出のうち、消費者ローンとは、借入の利便性向上のため予め貸出条件等を定めてパッケージ化した商品であり、その他の消費者向け貸出とは、消費者ローン以外の個人向け一般融資（事業性の貸出を除く）であります。

2. 利鞘【単体】

当中間期の資金運用利回りは前年同期比0.09%低下して0.91%となりました。これは、貸出金利回りの低下（前年同期比0.10%低下）が主因であります。

一方、資金調達原価は、預金等利回り（前年同期比0.03%低下）・経費率の低下（同0.05%低下）等により0.75%（同0.14%低下）となり、その結果、総資金利鞘は同0.05%上昇して0.16%となりました。

(単位：%)

〔全店ベース〕	2020年度中間期	2020年3月期比較		2020年3月期	2019年度中間期
		2020年3月期比較	2019年度中間期比較		
(1) 資金運用利回り (A)	0.91	Δ0.08	Δ0.09	0.99	1.00
(イ) 貸出金利回り (B)	0.88	Δ0.09	Δ0.10	0.97	0.98
(ロ) 有価証券利回り	1.14	Δ0.02	Δ0.03	1.16	1.17
(2) 資金調達原価 (C)	0.75	Δ0.10	Δ0.14	0.85	0.89
(イ) 預金等原価 (D)	0.82	Δ0.04	Δ0.08	0.86	0.90
(ロ) 預金等利回り	0.02	Δ0.02	Δ0.03	0.04	0.05
(ハ) 経費率	0.80	Δ0.02	Δ0.05	0.82	0.85
(3) 預貸金利鞘 (B)－(D)	0.06	Δ0.05	Δ0.02	0.11	0.08
(4) 総資金利鞘 (A)－(C)	0.16	0.02	0.05	0.14	0.11

(単位：%)

〔国内店ベース〕	2020年度中間期	2020年3月期比較		2020年3月期	2019年度中間期
		2020年3月期比較	2019年度中間期比較		
(1) 資金運用利回り (A)	0.85	Δ0.03	Δ0.04	0.88	0.89
(イ) 貸出金利回り (B)	0.85	Δ0.05	Δ0.06	0.90	0.91
(ロ) 有価証券利回り	1.03	0.05	0.05	0.98	0.98
(2) 資金調達原価 (C)	0.73	Δ0.04	Δ0.08	0.77	0.81
(イ) 預金等原価 (D)	0.80	Δ0.02	Δ0.06	0.82	0.86
(ロ) 預金等利回り	0.01	—	—	0.01	0.01
(ハ) 経費率	0.79	Δ0.02	Δ0.06	0.81	0.85
(3) 預貸金利鞘 (B)－(D)	0.05	Δ0.03	—	0.08	0.05
(4) 総資金利鞘 (A)－(C)	0.12	0.01	0.04	0.11	0.08

(注) 小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

3. 預り資産残高・期中販売額【単体】

預り資産残高

(単位：百万円)

	2020年9月末	2020年3月末比較		2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比較	2019年9月末比較		
投資信託期末残高 (A)	128,207	12,617	Δ4,100	115,589	132,307
公共債期末残高 (B)	54,459	Δ1,408	Δ2,226	55,867	56,685
金融商品仲介期末残高 (C)	48,926	1,496	1,723	47,429	47,202
預り資産残高合計 (A+B+C)	231,593	12,705	Δ4,603	218,887	236,196
うち個人預り資産残高	212,488	11,889	Δ5,186	200,598	217,674

期中販売額

(単位：百万円)

	2020年度中間期 (6ヵ月分)	2019年度中間期 (6ヵ月分)	
		前年同期比較	
投資信託	25,935	9,897	16,038
金融商品仲介	12,666	136	12,530
保険	9,751	Δ4,535	14,287

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 保険の取扱開始以降の取扱保険料累計額は552,429百万円であります。

4. 損益状況【単体】

当行単体の当中間期の損益状況は次のとおりであります。

■資金調達費用の減少により資金利益が増加

貸出金利息は前年同期比1,046百万円減少して17,568百万円となりました。有価証券利息配当金も前年同期比266百万円減少し6,880百万円となりました。

一方、外貨調達コストの減少を主因として、預金等利息をはじめとする資金調達費用が前年同期比2,015百万円減少の1,962百万円となり、資金利益全体では同649百万円増加の22,585百万円となりました。

■役務取引等収益の増加により役務取引等利益が増加

役務取引等利益は、融資関係手数料や預り資産関係手数料等の役務取引等収益が増加したことを主因に、前年同期比175百万円増加の4,006百万円となりました。

■その他業務利益も増加し、業務粗利益は増益

債券等関係損益（債券関係損益＋金融派生商品損益）が前年同期比719百万円増加したことを主因に、その他業務利益は同925百万円増加して1,238百万円となりました。

以上の結果、業務粗利益は27,831百万円で前年同期比1,751百万円の増益となりました。

■経費は減少し、業務純益は増益

一方、経費は、システム関係費用の増加等により物件費が前年同期比116百万円増加したものの、人件費が同264百万円減少したため、経費全体では同64百万円減少して21,052百万円となりました。

この結果、実質業務純益（貸倒引当金繰入前）が前年同期比1,815百万円増益の6,778百万円となりました。また、一般貸倒引当金繰入額が前年同期比225百万円減少し、業務純益は、前年同期比2,041百万円増益の6,498百万円となりました。

■経常利益は増益となるも、特別損益減少により中間純利益は減益

臨時損益のうち、株式等関係損益は1,264百万円で前年同期比431百万円減少、不良債権処理額は1,453百万円で同527百万円の増加となり、臨時損益全体では同1,142百万円の減少となりました。

これらの結果、経常利益は6,804百万円と前年同期比898百万円の増益となりました。

しかしながら、固定資産処分益の減少により特別損益が前年同期比2,900百万円の減少となったことから、中間純利益は6,569百万円と前年同期比1,258百万円の減益となりました。

【 単 体 】

(単位：百万円)

項番		2020年度中間期	2019年度中間期比較	2019年度中間期
1	業 務 粗 利 益	27,831	1,751	26,079
2	資 金 利 益	22,585	649	21,936
3	うち 資金運用収益	24,546	△1,364	25,911
4	うち 貸出金利利息	17,568	△1,046	18,614
5	うち有価証券利息配当金	6,880	△266	7,147
6	うち 資金調達費用(△)	1,962	△2,015	3,978
7	うち 預金等利息(△)	527	△801	1,329
8	役 務 取 引 等 利 益	4,006	175	3,830
9	役 務 取 引 等 収 益	6,565	264	6,301
10	役 務 取 引 等 費 用 (△)	2,558	88	2,470
11	そ の 他 業 務 利 益	1,238	925	312
12	(うち債券等関係損益)	840	719	120
13	うち 国内業務粗利益	25,267	790	24,476
14	資 金 利 益	20,922	227	20,695
15	役 務 取 引 等 利 益	3,876	164	3,711
16	そ の 他 業 務 利 益	468	399	69
17	経 費 (除 く 臨 時 費 用 分) (△)	21,052	△64	21,116
18	人 件 費 (△)	9,757	△264	10,022
19	物 件 費 (△)	9,530	116	9,414
20	税 金 (△)	1,763	84	1,679
21	実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	6,778	1,815	4,963
22	コ ア 業 務 純 益	5,613	1,697	3,916
23	コア業務純益(除く投資信託解約損益)	5,255	1,422	3,833
24	一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (△)	279	△225	505
25	業 務 純 益	6,498	2,041	4,457
26	臨 時 損 益	305	△1,142	1,448
27	株 式 等 関 係 損 益	1,264	△431	1,696
28	償 却 債 権 取 立 益	76	△160	237
29	不 良 債 権 処 理 額 (△)	1,453	527	926
30	貸 倒 引 当 金 戻 入 益	—	—	—
31	偶 発 損 失 引 当 金 戻 入 益	16	11	5
32	そ の 他 臨 時 損 益	401	△33	435
33	経 常 利 益	6,804	898	5,905
34	特 別 損 益	1,877	△2,900	4,777
35	うち 固定資産処分損益	2,100	△2,857	4,957
36	固 定 資 産 処 分 益	2,225	△2,777	5,002
37	固 定 資 産 処 分 損 (△)	125	80	44
38	うち 減損損失(△)	223	42	180
39	税 引 前 中 間 純 利 益	8,681	△2,001	10,683
40	法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 (△)	3,741	790	2,950
41	法 人 税 等 調 整 額 (△)	△1,629	△1,534	△95
42	法 人 税 等 合 計 (△)	2,111	△743	2,854
43	中 間 純 利 益	6,569	△1,258	7,828
44	与信コスト(貸倒償却引当費用)(△) [24+29-30-31]	1,716	290	1,426

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 債券等関係損益＝国債等債券関係損益(5勘定戻)＋金融派生商品収益－金融派生商品費用

3. コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益(5勘定戻)

4. コア業務純益(除く投資信託解約損益)＝コア業務純益－投資信託解約益

投資信託解約益は資金利益に、投資信託解約損は国債等債券関係損益に計上しております。

5. 損益状況【連結】

当行は連結子会社が7社あり、連結決算を実施しております。

当中間期の連結経常利益は単体比129百万円増の6,934百万円（前年同期比212百万円減益）、親会社株主に帰属する中間純利益は単体比157百万円減の6,412百万円（前年同期比2,223百万円減益）となりました。

【連結】

(単位：百万円)

項番		2020年度中間期	2019年度中間期比較	2019年度中間期
1	連結業務粗利益	28,994	930	28,064
2	資金利益	21,897	△46	21,944
3	役務取引等利益	5,380	110	5,270
4	その他業務利益	1,716	866	850
5	営業経費（臨時費用処理分を除く）(△)	21,768	△133	21,901
6	連結実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	7,226	1,063	6,163
7	一般貸倒引当金繰入額(△)	336	△118	454
8	連結業務純益	6,890	1,181	5,708
9	その他経常損益（臨時損益）	43	△1,394	1,438
10	不良債権処理額(△)	1,712	794	918
11	貸出金償却(△)	106	△329	435
12	その他の貸倒引当金繰入額（一般貸倒引当金繰入額を除く）(△)	1,605	1,123	481
13	その他債権売却損等(△)	0	0	0
14	貸倒引当金等戻入益	—	—	—
15	偶発損失引当金戻入益	16	11	5
16	償却債権取立益	76	△160	237
17	株式等関係損益	1,264	△431	1,696
18	売却益	1,803	△145	1,949
19	売却損(△)	277	223	53
20	償却(△)	261	62	199
21	その他経常損益（営業経費中臨時処理分を含む）	400	△19	420
22	金銭の信託運用見合費用(△)	1	△1	3
23	経常利益	6,934	△212	7,146
24	特別損益	1,877	△2,900	4,777
25	税金等調整前中間純利益	8,811	△3,112	11,924
26	法人税、住民税及び事業税(△)	4,105	795	3,309
27	法人税等調整額(△)	△1,707	△1,685	△22
28	法人税等合計(△)	2,398	△889	3,287
29	中間純利益	6,412	△2,223	8,636
30	非支配株主に帰属する中間純利益(△)	—	—	—
31	親会社株主に帰属する中間純利益	6,412	△2,223	8,636
(参考)				
	与信コスト（7+10-14-15）(△)	2,032	665	1,367

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結業務粗利益＝資金利益（資金運用収益－（資金調達費用－金銭の信託運用見合費用））＋役務取引等利益（信託報酬＋役務取引等収益－役務取引等費用）＋その他業務利益（その他業務収益－その他業務費用）
3. 連結業務純益＝連結粗利益－営業経費（臨時費用処理分を除く）－貸倒引当金繰入額（その他経常費用）中の一般貸倒引当金繰入額

6. 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	2020年度中間期		2019年度中間期
	2019年度中間期比較		
(1) 実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	6,778	1,815	4,963
職員一人当たり(千円)	3,263	913	2,350
(2) 業務純益	6,498	2,041	4,457
職員一人当たり(千円)	3,128	1,018	2,110

- (注) 1. 金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 職員数は期中平均人員を使用しております。

7. 債券等関係損益【単体】

(単位：百万円)

	2020年度中間期		2019年度中間期
	2019年度中間期比較		
国債等債券関係損益(5勘定戻)	1,165	118	1,046
売却益	1,715	597	1,118
償還益	50	50	—
売却損	594	523	71
償還損	—	—	—
償却	5	5	—
金融派生商品損益	△324	601	△925
債券等関係損益(合計)	840	719	120

- (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

8. 株式等関係損益【単体】

(単位：百万円)

	2020年度中間期		2019年度中間期
	2019年度中間期比較		
株式等関係損益(3勘定戻)	1,264	△431	1,696
売却益	1,803	△145	1,949
売却損	277	223	53
償却	261	62	199

- (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

9. 有価証券の評価損益

(単位：百万円)

【 単体ベース 】	2020年9月末			2020年3月末		
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
子会社株式	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	208,817	216,393	7,575	140,616	154,253	13,637
株式	198,565	201,143	2,578	135,622	139,318	3,695
債券	6,803	9,403	2,599	7,913	10,560	2,646
その他	3,449	5,846	2,397	△2,920	4,375	7,295
〔その他有価証券評価差額金〕	〔149,276〕			〔101,731〕		

【 連結ベース 】	2020年9月末			2020年3月末		
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
子会社株式	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	210,417	217,992	7,575	141,931	155,569	13,637
株式	200,164	202,742	2,578	136,937	140,633	3,695
債券	6,803	9,403	2,599	7,913	10,560	2,646
その他	3,449	5,846	2,397	△2,920	4,375	7,295
〔その他有価証券評価差額金〕	〔150,042〕			〔102,311〕		

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 「その他有価証券」については第2四半期末日(期末日)の時価に基づいて評価しておりますので、上記の表は中間貸借対照表(貸借対照表)又は中間連結貸借対照表(連結貸借対照表)計上額と取得価額との差額を記載しております。
3. 「その他有価証券」には、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。

10. ROE【 単体 】

(単位：%)

	2020年度 中間期	2020年3月期 比較		2020年3月期	2019年度 中間期
		2020年3月期 比較	2019年度中間期 比較		
業務純益ベース	3.31	0.09	1.04	3.22	2.27
中間(当期) 純利益ベース	3.35	0.20	△0.65	3.15	4.00

(注) 小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

11. 自己資本比率（国際統一基準）

当行は信用リスクの計測手法として『FIRB（基礎的内部格付手法）』を、オペレーショナルリスクの計測手法として『粗利益配分手法』を採用しております。

なお、当行単体の当中間期末の総自己資本比率は15.06%で前期末（2020年3月末）比1.33%上昇、連結ベースの当中間期末の総自己資本比率は15.43%で前期末比1.31%上昇となりました。

【単体】

（金額単位：億円）

	2020年9月末		2019年9月末比較	2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比較			
① 単体総自己資本比率 (%) (④ ÷ ⑦)	15.06	1.33	Δ 0.43	13.73	15.49
② 単体Tier 1比率 (%) (⑤ ÷ ⑦)	15.06	1.75	0.38	13.31	14.68
③ 単体普通株式等Tier 1比率 (%) (⑥ ÷ ⑦)	15.06	1.75	0.38	13.31	14.68
④ 単体における総自己資本の額	4,035	416	6	3,618	4,028
⑤ 単体におけるTier 1資本の額	4,035	526	218	3,508	3,817
⑥ 単体における普通株式等Tier 1資本の額	4,035	526	218	3,508	3,817
⑦ リスク・アセットの額	26,787	443	792	26,343	25,994
⑧ 単体総所要自己資本額	2,142	35	63	2,107	2,079

(注) 金額は億円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

【連結】

（金額単位：億円）

	2020年9月末		2019年9月末比較	2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比較			
① 連結総自己資本比率 (%) (④ ÷ ⑦)	15.43	1.31	Δ 0.51	14.12	15.94
② 連結Tier 1比率 (%) (⑤ ÷ ⑦)	15.43	1.72	0.30	13.71	15.13
③ 連結普通株式等Tier 1比率 (%) (⑥ ÷ ⑦)	15.43	1.72	0.30	13.71	15.13
④ 連結における総自己資本の額	4,169	415	Δ 13	3,754	4,183
⑤ 連結におけるTier 1資本の額	4,168	524	197	3,643	3,970
⑥ 連結における普通株式等Tier 1資本の額	4,168	524	197	3,643	3,970
⑦ リスク・アセットの額	27,010	438	776	26,572	26,233
⑧ 連結総所要自己資本額	2,160	35	62	2,125	2,098

(注) 金額は億円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

II 貸出金等の状況

1. 貸倒引当金とリスク管理債権の状況

当行単体のリスク管理債権の合計は607億円となり、前期末（2020年3月末）比72億円の増加、総貸出金残高に占める比率は1.52%と同0.14%の上昇となりました。

なお、当行の子会社では一般事業貸出を行っていないことから、連結ベースでのリスク管理債権残高は単体比28百万円の増加にとどまっております。

【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末	2020年3月末比較		2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比較	2019年9月末比較		
貸倒引当金	26,523	400	1,212	26,123	25,311
一般貸倒引当金	11,327	279	689	11,047	10,638
個別貸倒引当金	15,196	120	522	15,075	14,673
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

リスク管理債権	破綻先債権額	546	335	201	211	345
	延滞債権額	38,570	1,385	1,337	37,184	37,232
	3カ月以上延滞債権額	134	△42	△51	177	185
	貸出条件緩和債権額	21,547	5,563	8,036	15,984	13,510
	合計	60,799	7,242	9,525	53,557	51,274

(部分直接償却額) (11,356) (810) (365) (10,545) (10,990)

貸出金残高(末残)	3,983,906	105,020	190,976	3,878,885	3,792,929
-----------	-----------	---------	---------	-----------	-----------

(単位：%)

対総貸出金残高比率	破綻先債権額	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00
	延滞債権額	0.96	0.01	△0.02	0.95	0.98
	3カ月以上延滞債権額	0.00	—	—	0.00	0.00
	貸出条件緩和債権額	0.54	0.13	0.19	0.41	0.35
	合計	1.52	0.14	0.17	1.38	1.35

(注) 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

【 連 結 】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比較	2019年9月末比較		
貸倒引当金	28,523	571	1,317	27,952	27,206
一般貸倒引当金	12,022	336	685	11,686	11,336
個別貸倒引当金	16,501	235	631	16,266	15,869
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

リスク管理債権	破綻先債権額	550	337	203	213	346
	延滞債権額	38,580	1,384	1,334	37,196	37,246
	3カ月以上延滞債権額	134	△42	△50	177	185
	貸出条件緩和債権額	21,562	5,562	8,034	16,000	13,527
	合 計	60,828	7,241	9,522	53,587	51,306
(部分直接償却額)		(11,356)	(810)	(365)	(10,545)	(10,990)
貸出金残高(末残)		3,964,983	105,620	190,688	3,859,363	3,774,294

(単位：%)

対総貸出金残高比率	破綻先債権額	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00
	延滞債権額	0.97	0.01	△0.01	0.96	0.98
	3カ月以上延滞債権額	0.00	—	—	0.00	0.00
	貸出条件緩和債権額	0.54	0.13	0.19	0.41	0.35
	合 計	1.53	0.15	0.18	1.38	1.35

(注) 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2. 金融再生法開示債権の状況【 単 体 】

当行単体の金融再生法に基づく開示債権の合計は610億円で前期末(2020年3月末)比70億円の増加、総与信に占める比率は1.51%で同0.15%の上昇、貸倒引当金や担保等による保全率は66.70%で同3.35%の低下となりました。

【 単 体 】

(金額単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比較	2019年9月末比較		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,308	198	414	2,109	1,893
危険債権	37,028	1,370	1,161	35,657	35,867
要管理債権	21,682	5,521	7,985	16,161	13,696
小 計 (A)	61,019	7,090	9,561	53,928	51,457
総与信残高に占める比率 (%) (A)÷(B)	1.51	0.15	0.18	1.36	1.33
正常債権	3,978,096	95,510	175,454	3,882,586	3,802,641
合 計 (B)	4,039,115	102,600	185,016	3,936,514	3,854,099

保 全 額 (C)	40,704	2,926	3,658	37,778	37,045
貸倒引当金	17,505	630	1,344	16,874	16,160
担保保証等	23,199	2,296	2,314	20,903	20,885

保 全 率 (%) (C)÷(A)	66.70	△3.35	△5.29	70.05	71.99
-------------------	-------	-------	-------	-------	-------

(注) 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

3. 業種別貸出状況等

(1) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比較	2019年9月末比較		
消費者ローン	1,006,166	7,701	24,809	998,465	981,356
住宅ローン	963,075	8,497	24,869	954,577	938,205
その他ローン	43,091	△796	△59	43,887	43,150

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 住宅ローンには、地方公共団体制度融資(住宅資金)・協定住宅融資等の住宅関連融資を含めて記載しております。

(2) 中小企業等貸出金残高・比率【単体】

(単位：百万円、%)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比較	2019年9月末比較		
中小企業等貸出金残高 (A)	2,645,427	88,855	133,053	2,556,571	2,512,373
うち中小企業向け残高(注)	1,639,260	81,154	108,243	1,558,106	1,531,016
国内店貸出金残高 (B)	3,973,203	106,069	192,959	3,867,133	3,780,244
中小企業等貸出金比率(%) (A)÷(B)	66.58	0.47	0.12	66.11	66.46

(注) 中小企業向け残高は、中小企業等貸出金残高(A)より、上記(1)の消費者ローン残高を控除して算出しております。なお、金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(3) 業種別貸出金残高【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比較	2019年9月末比較		
国内店 (除く特別国際金融取引勘定)	3,973,203	106,069	192,959	3,867,133	3,780,244
製造業	583,770	51,286	67,362	532,484	516,408
農業・林業	7,300	335	462	6,965	6,837
漁業	422	△137	△32	559	454
鉱業・採石業・砂利採取業	12,682	△439	△1,417	13,121	14,099
建設業	116,330	11,066	17,047	105,264	99,283
電気・ガス・熱供給・水道業	54,481	1,673	2,254	52,808	52,226
情報通信業	28,861	△1,129	△3,726	29,991	32,588
運輸業・郵便業	169,291	4,292	7,512	164,999	161,779
卸売業・小売業	427,667	8,683	2,370	418,983	425,297
金融業・保険業	96,174	△6,336	△2,536	102,511	98,710
不動産業・物品賃貸業	653,645	2,369	26,417	651,275	627,227
その他のサービス業	324,578	28,193	33,408	296,385	291,170
地方公共団体	512,230	569	16,609	511,661	495,621
その他	985,764	5,641	27,226	980,122	958,538

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(4) 業種別リスク管理債権残高【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比較	2019年9月末比較		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	60,799	7,242	9,525	53,557	51,274
製造業	16,620	2,820	2,811	13,800	13,809
農業・林業	161	132	130	29	30
漁業	1	Δ0	Δ11	1	13
鉱業・採石業・砂利採取業	1,349	Δ26	Δ22	1,376	1,371
建設業	3,187	Δ261	Δ314	3,449	3,501
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	Δ2	—	2
情報通信業	266	Δ211	Δ262	478	529
運輸業・郵便業	1,441	231	46	1,210	1,394
卸売業・小売業	17,759	2,120	2,588	15,639	15,171
金融業・保険業	9	Δ0	Δ11	9	20
不動産業・物品賃貸業	6,014	1,008	1,195	5,006	4,819
その他のサービス業	11,313	1,616	3,529	9,697	7,783
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	2,673	Δ185	Δ151	2,859	2,824

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. 国別貸出状況等

(1) 特定海外債権残高【単体】

該当事項はありません。

(2) アジア向け貸出金【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比較	2019年9月末比較		
インドネシア	2,037	354	439	1,683	1,597
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
中国	1,303	Δ33	Δ23	1,336	1,326
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
香港	2,136	Δ677	Δ614	2,813	2,750
(うちリスク管理債権)	211	211	211	—	—
インド	1,000	—	—	1,000	1,000
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
タイ	740	Δ221	340	961	400
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
ベトナム	1,297	Δ103	517	1,400	779
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
シンガポール	3,174	Δ134	Δ163	3,308	3,337
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
カンボジア	317	Δ9	Δ6	326	323
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
合計	12,006	Δ823	490	12,830	11,515
(うちリスク管理債権)	211	211	211	—	—

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 中南米主要諸国向け貸出金【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比較	2019年9月末比較		
チリ	1,383	Δ81	Δ110	1,465	1,494
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—
合計	1,383	Δ81	Δ110	1,465	1,494
(うちリスク管理債権)	—	—	—	—	—

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(4) ロシア向け貸出金【単体】

該当事項はありません。

Ⅲ 自己査定結果と開示基準別の分類・保全状況【単体】

〔2020年9月末現在〕

(金額単位:億円)

自己査定結果（債務者区分別） 対象：貸出金等与信関連債権					金融再生法の開示基準 対象：要管理債権は貸出金のみ その他は貸出金等与信関連債権				リスク管理債権 対象：貸出金	
区分 与信残高	分類				区分 与信残高	担保 保証 による 保全額	引当 額	保全率	区分	貸出金 残高
	非 分類	Ⅱ 分類	Ⅲ 分類	Ⅳ 分類						
破綻先 5	2	2	— (0)	—	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 23	20	2	100.00%	破綻先債権	5
実質破綻先 17	5	12	— (2)	—					延滞債権	385
破綻懸念先 370	270	54	44 (149)	—	危険債権 370	175	149	87.70%		
要 注 意 先	要管理先 370	34	336	—	要管理債権 (貸出金のみ) 216	36	23	27.31%	3か月以上 延滞債権	1
	その他の 要注意先 2,467	584	1,883	—	小計 610	231	175	66.70%	貸出条件 緩和債権	215
正常先 37,158	37,158	—	—	—	正常債権 39,780				合 計	607
合 計 40,391	38,056	2,289	44 (151)	—	合 計 40,391				総貸出金に占める リスク管理債権の 割合 1.52%	

- (注) 1. 金額は単位未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 貸出金等与信関連債権：貸出金・支払承諾(銀行保証付私募債に係る支払承諾を除く)・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・未収利息等
3. 自己査定結果におけるⅢ分類の()内は分類額に対する引当額であります。

IV 2021年3月期(通期)の業績予想

〔 主要勘定 〕

(単位：億円、%)

	【 単 体 】	
	予想平均残高	前期比較
預金等(譲渡性預金含む)	51,970	(5.3) 2,655
貸 出 金	40,089	(5.4) 2,087
有 価 証 券	11,911	(△1.7) △210

(注) 前期比較欄の上段の()内は、前期比増減率(単位：%)であります。

〔 利回り 〕

(単位：%)

	【 単 体 】	
	2021年3月期予想	2020年3月期比較
預金等(譲渡性預金含む)	0.02	△0.02
貸 出 金	0.86	△0.11
有 価 証 券	0.98	△0.18

〔 損 益 〕

(単位：百万円)

	【 単 体 】		【 連 結 】	
	2021年3月期予想	2020年3月期比較	2021年3月期予想	2020年3月期比較
経 常 利 益	11,000	△1,538	11,000	△2,875
当 期 純 利 益 (注)	9,000	△2,869	9,000	△3,412

(注) 【連結】については「親会社株主に帰属する当期純利益」を表示しております。

なお、2021年3月期予想については、【単体】・【連結】とも、2020年10月28日に上記記載のとおり当初予想を修正し、同日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。